

第1ドリーム保育園便り

頑なに気持ちも友達と一緒になら ～友達とつながり支え合う2歳児～

「食べない!!」「いやだー!」うさぎ組さんでの給食時間のこと。保育士がいくらおいしそうに食べて見せても、「いや!」。「一口でも食べてみよっか」と誘ってみても「いや!」。何をしても頑なに食べたくない子ども。どうしようか、と考えると”大人じゃなくて友達に食べさせてもらったらどうなるだろう・・・!”と、ピンと来た保育士が、「Aくん、Bちゃんに食べさせてくれる?」と聞いてみました。

すると、Aくんが「うん、いいよ」とBちゃんのスプーンで口に運んでくれ、ぱくっと食べることができました!保育士が「Aくんだと食べられたんだね、おいしい?」とBちゃんに聞くと、「うん」といい、ゴクンと飲み込むことができました。Aくんも苦手で食べられていなかったのに、「Aくんも食べられる?」と言うと、今度は逆にBちゃんがスプーンで食べさせてくれ、お互いに食べさせ合いながら全部残さずピカピカに食べ終わったのです(^)

そんな場面を黙って隣で見ていたCくん。Cくんも食べないと言っていたのですが、保育士が「Aくん食べさせてくれる?」とお願いすると、Cくんも口を開けてくれ、ピカピカに食べるようになりました。

お友達と一緒にがうれしくて、繋がり合うようになる2歳児。楽しいことを一緒に共感して遊んでいる友達だからこそ、嫌なことも、お友達に支えてもらうことによって、子ども同士で頑なに気持ちを切り替えることができました。「どうぞ。」と言葉を添えながらやってあげる「小さな先生姿」にもほっこりし、普段の保育士の姿をよく見てまねているなあと感心しました。



「雨の時の花」 ～五感使った体験は一生忘れない～

ひつじ組でのお散歩のとき、あじさいの花が咲いていて、保育士が「なんていう花だっけ?」と聞くと、子どもたちから名前は出なかったのですが、一人の子が「雨のときのお花」と言いました。去年、お散歩に行ったときに、あじさいの花と顔を比べたり、雨の日にお散歩に行ったりしてよく見ていたので、身体で感じたことをしっかりと覚えていたから、「雨の日の花」という言葉が出てきたのかなと感じました。



乳幼児のころは、さまざまな体験を通して、だんだんに育っていくものです。倉橋惣三の言葉に「生活を生活で生活へ」という言葉がありますが、子どもは体験させずに言葉で伝えれば分かるのではなく、「そうだ!」ということを感じ覚的に感じる、分かること、体験することで物事を知っていきます。生活の中のいろいろな場面で学びになることがあるので、子どもの柔軟な発想に目を向け、耳を傾けることが大切です。

～フレーベル館 保育士研修より～

けんかする



～言葉をつかって伝えること～

ものの取り合いや思いの違いでけんかになり、身体で叩いたり、押ししたり、引っ張りあったりして感情を表現する1歳児さん。今の時期はまだ言葉ではなく、手がでてしまう発達段階です。けんかが始まると、「しないでね」「ちょうだいだったね」「返してって言ったらいいいよ」と保育者が仲立ちして言葉を添えて、伝えていきます。

先日、2人の子がトラブルになり、「また身体でいっちゃうかな・・・」と思いながら手が出たら止めてお話ししようと身構えていました。すると、とられそうになった子が「ダメー!」と言葉で叫んで訴えました。自分の気持ちをしっかり言葉にしてぶつけてくれた姿に驚き、嬉しくなりました。これまで「こうしたらいいんだよ」と保育士が仲立ちしてきたことがその子の言葉につながったことや、言葉も出てきたことに喜びを感じた場面でした。

1歳児はものとりあいのとき、よく相手に噛みつく。このときの傷はけっして後には残らないものだが、噛まれた子どもの両親は歯跡をみて心配し、怒る場合が多い。犬や猿のように噛みついたり、引っ掻いたり段階なのだ、ということがわからないと、相手の子どもをにくんだり、きつくしたりしてしまう。

こんなとき、私は若い保育者に「ことばの発達をうながす保育をしてごらん」と話す。くりかえしのことばが出てくるリズムのあるお話をしたり、劇あそびをしたりすると、この年ごろの子どもたちはなんどもよろこんでまねをし、ことばを覚え、いつのまにか噛みつきあうようなけんかも減ってくる。

(中略) こうして、仲間とのけんかをおして、子どもたちはしだいに相手を理解できるようになり、自分が正しいと思っても、ほかのものに理解されないこともあるということを知っていく。そして、”待つ”ということ”許す”ということをも身につけていくのである。

～引用文献 「ヒトが人間になる さくらさくらんぼ保育園の365日 齋藤公子著～

「ドリームでよかった」～保護者の方から嬉しい声～



ひつじ組の保護者の方からこのようなお話を聞きました♪

「子どもが小さいときは、他の保育園や幼稚園を通ると、遊具や滑り台があると、『いいな～』と言っていたのですが、最近『ドリームでよかった。だって、お山ものぼれるし、ドリームの森にも行けるし、城山公園にもお散歩に行けるし!!』と言うようになりました。私(母)も、その言葉に、保育園を楽しんでいるんだなあと、嬉しくなりました!」

理事長のつぶやき・・・

霧島市から都城市に住居を移したという方が、保育料が無料になったという話を聞きました。都城市は令和5年4月から独自の保育料無料化を行っているようです。安心して子どもを産み、育てられるようにと、全年齢の保育料が無料になっているようです。霧島市も保育料を無料にしてくれたらなあ。